

紫外線照射による感温性ゲルの調製

松原秀樹^{*1} 大西保志^{*1} 木村和幸^{*1}

Preparation of Thermosensitive Hydrogels by Ultraviolet Irradiation

Hideki MATSUBARA, Yasushi OHNISHI and Kazuyuki KIMURA

ポリエチレングリコールジアクリレートとベンゾフェノン系光重合開始剤を添加したポリビニルメチルエーテル水溶液に紫外線を照射することにより架橋ゲルを調製した。このゲルは37°C付近を境にゲルの体積が膨潤した状態と収縮した状態の間を不連続に可逆的変化をする感温性を示した。また、2-アクリルアミド-2-メチルプロパンスルホン酸をグラフト化したポリビニルメチルエーテルゲルを紫外線照射により調製することも可能であった。グラフト化したゲルも感温性を持ち、その転移点温度は高くなる傾向を示した。

^{*1} 材料部